

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900347		
法人名	ミモザ株式会社		
事業所名	ミモザ西船橋		
所在地	千葉県船橋市海神町南一丁目735-1		
自己評価作成日	2021年10月18日	評価結果市町村受理日	令和4年2月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai gokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2-10-15		
訪問調査日	令和3年11月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設内の装飾に力を入れています。新型コロナウイルスの影響で外出や外部の方を招いたレクリエーションが難しい状況が続き以前より季節を感じにくくなっている中で、少しでも今の季節を肌で感じられるよう、施設内の装飾を工夫しています。ご利用者にも季節の塗り絵をやってもらい、それを飾り付けに使ったりもしています。
運営推進会議については、船橋市から開催免除の通知が来ていますが、面会も制限されている中でどうしたら施設のことを知っていただけるか？を検討し、2ヶ月に1回のペースで文書対応という形で運営推進会議を行っています。半数以上のご家族からご意見や感謝のお言葉を頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1)コロナ禍で外出制限や面会制限のある中、入居者に少しでも季節の移り変わりを感じていただけるよう、季節の創作物や塗り絵を展示するなど施設内の装飾を工夫している。2)毎月送付の生活状況のお知らせに日常の様子の写真を多く添えたり、運営推進会議書面を送付して施設の状況を知って頂くよう工夫し、多くの家族から喜ばれている。3)ホーム内30分研修で報告書提出と施設長によるフィードバックを継続して実施しコロナ禍でも職員ひとり一人のスキルアップに努めている。4)職員の定着率も高く明るい雰囲気の中、「小さな気づきを大切に心あたたまるケアの提供」との理念の実践にチームワークよく取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入社時のオリエンテーションやスタッフミーティング等で職員ひとりひとりが理念を共有し、サービスの提供を行っています。	「1.豊かな感性を持つ、2.心温まるケアを提供する、3.小さな気づきを大切に」とのミモザ西船橋の介護理念を目につきやすい場所に掲げている。特に職員ひとり一人が利用者ひとり一人への小さな気づきを大切に、心温まるケアの実践に繋げるよう努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルスの影響で、外部からの訪問がほぼなくなってしまいました。保育園や花レクの花屋さん、移動式のパン屋さんとは感染状況が落ち着けば、再開するお話をしています。	コロナ禍以前にお遊戯の披露に来てくれていた保育園から、お遊戯やお歌のDVDを提供して頂いた。コロナ禍終息後に向け以前からお付き合いのある保育園はじめ、生け花レクの花屋さん、移動パン屋さん、二胡演奏ボランティアの方々と再開できるよう話を進めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームページ等で西船橋の運営状況をお知らせすると共に、認知症対応型の施設であることをアピールしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、文書として運営推進会議資料を送り、現在の施設の状況やご利用者の様子を伝え、返信用の意見書から意見・助言を頂いています。	事前に参加者に(入居者状況、ヒヤリ・事故報告、行事や感染症対策などを記した)運営推進会議報告書を送付し、意見や要望、提案などを記入する用紙を添えて送付している。毎回多くの出席者から回答があり、また、次回の報告書にそれを纏めて報告するなど、書面による会議を活かす取り組みをしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	ミモザ通信を作成し、地域包括、生活支援課、他事業所に情報提供し、協力関係を築くよう取り組んでいます。	ミモザ通信を地域包括支援センターをはじめ、事業所と関連のある社会支援課、指導監査課、介護保険課に届けホームの実情や取り組みをお知らせし協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在、やむを得ず身体拘束をしているご利用者がいますが、職員全体で身体拘束に関する研修を重ね、身体拘束廃止に向けて取り組んでいます。	身体拘束および虐待防止に関する研修を定期的に実施し、研修報告書を提出しており、職員ひとり一人の理解度は高い。現在やむを得ず身体拘束をしている利用者に関しては、緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書を3ヶ月に一度ご家族と取り交わしている。また、定期的に身体拘束適正化委員会を開き、改善方法などについて検討している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に2回、虐待防止に関する研修を行うとともに、ご利用者を注意深く観察し、職員同士で虐待が起こらないよう努めています。 2/10		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	プライバシーの保護や倫理及び法令順守の研修を通して権利擁護についても学ぶ機会を設けています。また現在後見人制度を利用している方がおり、その方を通じても権利擁護について触れています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容に改定があった場合には、その都度ご家族や関係機関にお手紙等で説明をさせていただいております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	文書対応による運営推進会議では、返信用の意見書を作成し、頂いた意見には次回の運営推進会議で返答することで意見交換をしています。	コロナ禍のため、家族参加行事や家族会は休止している。生活状況として身体面、精神面、生活面と連絡事項と入居者のホームでの様子の写真を入れ、毎月ミモザ通信として送付し、家族と情報を共有し意見や要望を言って頂き易くしている。また、書面による運営推進会議案内に意見書記入書を同封し意見や要望を頂き、次回の運営推進会議書面で纏めて報告し意見交換を出来るよう工夫している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	新しいご利用者や職員が入ってきた時や職員から希望があった時等にスタッフ会議やアンケートを行い、業務改善及びサービス向上に努めています。	スタッフ会議や個人面談時に職員から多くの業務に関する提案や意見が出される。特に10年目を迎え、故障する機器類も多く交換している。毎月30分研修を計画的に実施し、報告書を提出し施設長が必ずコメントを記入してフォローアップしている。本社のスキルアップ研修や実技研修など(ウェブ)、職員育成の研修制度が整っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	当社就業規則にて、定期的に公平な評価を行っています。資格や本社開催の研修受講などの参加も含まれます。また、職員と個人面談を行い、職場環境について意見交換を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本社にてスキルアップ研修(オンライン開催)、施設で30分研修があり、社員の希望または定期的に受講できる環境があります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	船橋市グループホーム連絡会に参加し、ネットワークやサービスの向上に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者ご本人、ご家族や関係者の方からも希望や要望等のお話を聞き、関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居前に、ご本人やご家族、関係者の方からお話を聞かせて頂き、関係作りに努めています。 ご家族が現在抱えている不安を当サービスを利用することで、少しでも取り除けるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当施設で出来る限りのことは行うようにしています。ADLや認知症の程度によっては他サービスをお勧めすることもあります。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者本位ということを忘れず介護を行っています。沢山のコミュニケーションを取り、信頼関係を深めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とも密に連絡を取るよう心掛けています。ご利用者の些細な変化も随時、お電話等で報告しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルスの影響で、面会は制限させていただいております。状況によっては緩和を行い、面会以外にもお電話でご家族、ご親戚とお話できるよう支援しています。	コロナ禍のため、面会を制限している。ウェブでの面会や玄関先での面会、ご家族による近所の散歩の同行などの工夫を行ってきた。電話の取次ぎや自筆のハガキの投函や年賀状のやり取りなど、馴染の関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者皆さんで出来るレクを考えたり、普段のお話を通じてご利用者が孤立しないよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了となったご家族でも「困った時はいつでも声を掛けてください」とお話しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	なるべくご本人の望みを聞いて、出来るだけ意向を反映できるよう努めています。	「小さな気づきを大切にする」という理念のもとに、職員は入居者のちょっとした変化や気づいたことを口頭で伝えるか申し送りノートで共有している。入浴時や洗濯干し就寝前のケアなど入居者とスタッフが二人きりになるときに昔の生活や現在の思いを聞くことが多い。ターミナルの方には痛み無く過ごせるよう、身体状況の細かな変化を職員で情報共有し、本人の表情から読み取るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご本人やご家族、関係者からお話を聞いて情報収集を行い、入居後もご本人のお話から把握できるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者の一日の生活ペースを把握し、更にその日の変化を見逃さないよう、日々観察を行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にあセスメントを実施し、現在の様子から計画作成担当者を中心にスタッフとケアのあり方について検討し、ご家族の承認を得て介護計画としています。	サービス担当者会議を3カ月もしくは6カ月ごとに開催している。計画作成担当者は職員から意見を聞き取り、医師や看護師などの意見も取り入れ現状に即した介護計画作成に努めている。計画作成担当者は1カ月もしくは3カ月ごとにモニタリングを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録を整備し、気づきや情報は申し送りノートで共有し、必要に応じて介護計画書の見直し等も実施しています。また、ご利用者に状態変化が見られたときには、ご家族に承諾を得てから区分変更も行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法令に違反しない範囲で、ご家族やご本人の希望に添えるような柔軟な対応に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルスの影響で、難しい状況ですが、状況が落ち着いたら保育園交流など出来ることから再開する予定です。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科訪問診療と24時間対応の協力病院と連携を取り合い、速やかな受診が行えるよう支援しています。内科の他に精神科、皮膚科、眼科、歯科も行っています。	協力医療機関の訪問診療医が主治医となっている。また、皮膚科などの専門科も協力医療機関から往診して頂ける。週に一度、看護師の訪問があり、相談しやすい体制となっている。往診状況、看護師の指示、処方薬変更などの情報は申し送りノートで共有し日々のケアに活かしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護にて、ご利用者の些細な変化も相談し、助言を頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関と連携して常に情報交換を行っています。入院時には関係各所に介護サマリーやアセスメントシート等で情報提供し、早期に退院できるよう努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約締結時に重度化した場合について、当施設の指針と内容について説明し、同意書を交わしています。合わせて治療方針についてもご本人、ご家族からも同意を得ています。現在ターミナルについて同意を得ている方もいます。	看取り介護についての説明書、ターミナルケアにおける申込書および同意書、看取りについての同意書、終末期ケアについての同意書を家族に説明しており、方針を共有できている。職員はターミナルケア研修を受けケアの質の維持向上に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成し、併せて研修も行い、迅速な対応が出来るよう備えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策マニュアルを作成し、定期的に避難訓練を行っています。	災害対策対策マニュアルに基づき、5月に夜間想定地震の避難訓練、7月水害避難訓練、9月非常災害時の研修、11月火災時の避難訓練を行っている。	夜勤担当職員全員が夜間想定火災の避難訓練を体験するとともに、各避難訓練の振り返りを行い全職員が避難方法を習熟できるよう工夫されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者ひとりひとりの人格を尊重し、その方に見合った対応を心掛けています。 施設での30分研修ではプライバシー保護やマナー・接遇の研修も行っています。	スピーチロックを含めた言葉遣いに留意し、節度ある対応を心がけている。プライバシーに関する研修で入浴や排泄での配慮を、接遇に関する研修では挨拶、身だしなみ、言葉遣い、態度、表情が大切だと伝えている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活でお好きな音楽やその日に着る洋服を選んでいただいたり、ご利用者が気軽に意思表示できるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活のリズムが乱れないよう留意しながら、ご利用者が希望する一日が過ごせるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日に着る洋服を選んでいただいたり、迷うときには全体のバランスや季節感をアドバイスしながら、一緒に選んでいます。 定期的に訪問理美容があり、ヘアカットの他に顔剃りや眉毛カットも行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お食事については、ご利用者の好き嫌いやアレルギーを事前に聞き取り、調理の際に反映しています。 配膳、片づけ、簡単な下処理等出来るものをお手伝いしていただいています。	利用者で野菜の下処理や皿洗いを手伝う方がいる。敬老会、夏祭り、クリスマス会ではオードブルや旬の食材の行事食などと食を楽しむ機会を多くしている。入居者の誕生日にはケーキでお祝いしている。コーヒーマーカーのコーヒーを提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記録しています。 必要に応じて刻み、ミキサー、トロミ等その方に合う方法で、お食事を摂取していただけるよう努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの声掛けをし、口腔内をチェックしています。自力では困難な方は職員による口腔ケア介助を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表に記入し、排泄パターンの把握と共に、清潔を保てるように支援しています。また、排泄から見える体調の変化にも留意しています。	全てのトイレが車椅子対応となっている。それぞれの状況に合わせ、布パンツ使用の方からオムツ使用の方までおり、おむつ使用でも排便時にはトイレに座ってもらうように支援している。ポータブルトイレ使用の方もいる。座位が保てるならば日中はトイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の排便状況を把握し、水分摂取、食事内容、運動等で便秘解消に努めています。便秘が続く場合には連携医院に相談し、便秘薬を処方していただいています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	楽しんで入浴できるよう入浴剤を入れたり、環境や温度にきを配っています。必要に応じて、入浴時間を午前か午後を選んでいただくこともあります。	1階はチェア浴が可能な浴槽となっており、座位がとれば入浴できる環境が整っている。楽しめるよう入浴剤を用意している。自分専用の石鹸類を用意して入浴を楽しむ方もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の生活習慣に合わせ、生活リズムが乱れないよう留意しながら、体調や気分に合わせて自由に居室で休んでいただけるよう、室内の証明管理に努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに最新の情報を載せ、職員全体が閲覧できるようにしています。また、服薬の一包化をしていただき、服薬事故のないよう努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常的に体操や歌謡曲、季節に合ったレク等を提案し、楽しんでいただいています。また、掃除や洗濯物たたみ等を自分で出来ることはしていただき、それらを通じて自立支援をしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルスの為、外出の機会は少なくなりましたが、気温・天候が良い日には玄関先へ出て外気浴をしています。	コロナ禍で外出の機会が少なくなっている。家族と短時間のドライブや散歩に出る方がいる。週1から月1の頻度で玄関から外にでて外気浴を楽しんでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金は紛失防止の為、基本的に事務所の金庫にてお預かりをしています。嗜好品やお菓子の購入、医療費や理美容代の支払い等に使用しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族、ご友人からお電話やお手紙が来る、逆にご利用者の希望でお電話を掛けたり、お手紙を出す等、基本的に通信は自由に行っております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や気候に合った温度管理、雰囲気作りをし、過ごしやすい生活空間を提供できるよう常に工夫をしています。ご家族、お客様を迎える玄関にも配慮しています。	各フロアに三人掛けソファが二つずつある。各フロアロビーには椅子が設置されており、コロナ禍での短時間の面会に利用していた。テレビのボリュームは大きめとなる。2階の日当たりにはカーテン使用で調整している。11月訪問時、天井に紅葉カラーの飾り付けがされ、白い壁に映えていた。冬の温度は23度から25度、湿度は40%になるよう温湿度計を確認している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアではソファでくつろげる空間を作り、ベランダでの日光浴もできるように、椅子を準備しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自分のお部屋として、自由に家具や調度品を持ち込み、心地よく安心して暮らせるよう配慮しています。各居室には職員を呼ぶコールボタンも設置しています。	クローゼット、エアコン、電気、呼び出しコール、ベッド、カーテンを完備。電子ピアノ、写真、テレビ、CDラジカセ、ぬいぐるみ、フラワーアレンジメント、一人掛けソファ、チェスト、整理ダンスなどを持参されている。ADLに応じてベッド用グリップを導入し立ち上がりを楽にしたり、テレビとベッドの配置を工夫し寝ながらテレビを楽しんだり、個々にあわせて対応している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内はバリアフリーで車いすの方でも自由に動けるようになっています。1階の浴室には機械浴を設置、居室前に表札を付ける等、分かりやすい表示もしています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	新型コロナウイルスの影響もあり、外部の方を呼んだレクがほとんどできていない。施設の生活が単調な傾向にある。	外部の方も呼んだ、賑やかなイベント・レクリエーションを提供する。	新型コロナの状況、会社の指針等十分に考慮した上で、新型コロナ以前にお付き合いのあった方だけでなく、社会福祉協議会でボランティアの方が来ていただけないか相談する。	8ヶ月
2	33	ターミナルに同意しているご利用者がいるが、終末期の一步前段階のような状態。今の所、経口摂取が可能だが、それもできなくなった時の対応や職員に何ができるか曖昧である。	終末期のケアを学び、ご利用者、ご家族、職員が悔いのない最期を迎える。	実際の事例を用いて、研修をする。 小さな状態の変化も見逃さず、必要に応じてケアプランの修正をする。 お食事が辛いご様子もあるので、食べ物の差し入れの他に、ご本人がお好きなものや音楽をご用意できるかご家族に相談する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。